

「函館市耐震改修促進計画（改定素案）」に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

案 件 名	函館市耐震改修促進計画（改定素案）
募 集 期 間	平成28年12月19日（月）～平成29年1月17日（火）
担 当 課	都市建設部建築行政課
意見提出者数	団体 1団体

「函館市耐震改修促進計画（改定素案）」に対する意見の概要と市の考え方

・本計画に関する意見（1件）

※「意見の概要」については、原文を載せています。

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>第1章 計画と目的等</p> <p>1 背景と目的</p> <p>先ず初めに、国家による法律やそれに伴う北海道、函館市の計画により実施されるものと考えられるが、昨今の天災等による自然災害等による大きな被害に対しての対策が盛り込まれていない。</p> <p>建物の耐震計画も目先の事業としては国家の方針を鵜呑みにすれば大事なこともかもしれないが、どのような建物も基礎や土台が人間の脳の働きのように進化せずに老化の一途を辿り、やがては認知症になりそのまま放置することと同じである。</p> <p>ここでいえる事は、基礎も土台も大切であるが、日本民族の伝統的社會文化である戸籍のように、その土地の過去の経歴が重要な役目をもっていることを忘れてはならない。人間ブルドーザと言われた総理大臣がいたが、彼は日本列島改造論を打ち出して、自然界を破壊した張本人である。二度と同じ過ちを犯してはならないが、今又同じような過ちを犯しそうな気配である。</p> <p>地球環境の悪化により過去の自然状況と異なる状態が続いていることを知りながら、その環境の変化と異常気象による被害の体験を精神的隠蔽をはかり、地震対策の建物の耐震化にのみ目を向けさせることは、国家的な詐欺行為と言わざるを得ない。</p> <p>地方自治体は国家によるその矛盾を暴き、住民本位の対策に目を向けて、国家の誤りを正していただきたい。同じ災害を繰り返さないためにも。</p> <p>※理念の確立</p> <p>1.自治体に残存する歴史的資料に基づき、</p>	<p>○ このたび改定する函館市耐震改修促進計画は、自然災害への対策が盛り込まれていないのご指摘ですが、これらの対策については、昨年3月に改定しました「函館市地域防災計画」において、予防・応急・復旧等に係る総合的な防災対策を明らかにしており、この耐震改修促進計画はその一環として、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進し、震災による被害をできるだけ軽減しようとするものです。</p> <p>○ 次に、建築物の耐震改修計画においては、その基礎を支える地盤の地形や土質などの状況を把握し公表することも必要とのご意見につきましては、市としてもこのことは重要であるとの認識のもと、建築基準法を所管する窓口（建築行政課）に、市域の地質調査結果に基づく地質データ集を備え付け、自由に閲覧、活用できるようにしているところであります。</p>

土地や地形の形成された経過を再調査して、その土地が過去から現代までにどのような開発がなされ、どのような地形の変更等の歴史を辿り、現在の土地の状況を科学的に把握検証して、その経過を詳細に公表して自治体としての責任と今後予想される市長や市の理事者等に対する紛争等に備えること。

2. 今後未来にわたる広大な計画となることが予想される。現職も、退職後の元職員にもその成果が問われる大きな責任のある大事業である。そのためには具体的にこの計画がどの程度の震災やそれに影響を受ける関連災害の被害にも影響度を把握して同時に公表すべきと考える。

提言

1. 歴史上のその土地の経過を調査して、過去の災害の歴史に照らし合わせて、耐震改修促進計画に沿う地形であることを確認すること。

その後に建築計画に着手すること。

山岳やなだらかな地形は人体と同じ構造であって、山脈や崖地を切り崩すことは人体の血管や神経、それにリンパ管の切断をすることと同じ行為であります

このことを充分考慮して、耐震改修計画を進めていただきたい。

人口減に悩む函館市にとって市街地の高層住宅の建築には賛成できません。先ず夜景の街のイメージから相反する美観だからです。それに災害時における消防隊員や救助隊の生命が著しく危険にさらされるからであります。高層階での消火活動、人命の救助など不必要な作業が低地での作業では考えられません。

尚、海岸低地の浸水対策についてはこの限りではありません。

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません。
結果の配布場所	都市建設部建築行政課（市役所本庁舎3階）
お問い合わせ先	都市建設部建築行政課 TEL 0138-21-3397 FAX 0138-27-3778 E-mail kenchikugyosei@city.hakodate.hokkaido.jp